272S4

www.philips.com/welcome


| | | |
|---|---|---|
| JA | ユーザーマニュアル | 1 |
| | カスタマサポートと保証 | 21 |
| | トラブルシューティング & FAQ | 26 |


PHILIPS

# 目次


1. 重要.....1
   1.1 安全のための注意事項とメンテナンス.....1
   1.2 表記の説明.....2
   1.3 製品と梱包材料の廃棄.....3

2. モニタをセットアップする.....4
   2.1 取り付け.....4
   2.2 モニタを操作する.....5
   2.3 MultiView.....9
   2.4 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし.....11

3. 画像の最適化.....12
   3.1 SmartImage.....12
   3.2 SmartContrast.....13

4. PowerSensor™.....14

5. MHL (モバイルハイディフィニションリンク).....15

6. 技術仕様.....16
   6.1 解像度とプリセットモード.....19
   6.2 きわめて明瞭.....19

7. 電源管理.....20

8. カスタマサポートと保証.....21
   8.1 Philipsのフラットパネルモニタ画素欠陥ポリシー.....21
   8.2 カスタマサポートと保証.....23

9. トラブルシューティング& FAQ.....26
   9.1 トラブルシューティング.....26
   9.2 一般FAQ.....28
   9.3 Multiview FAQ.....30

# 1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philips モニタを使用するユーザーを対象にしています。 モニタを使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みください。 モニタの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips 保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

## 1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

**警告**

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電気的障害、機械的災害につながる可能性があります。

コンピュータのモニタを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

### 取り扱い

- モニタを直射日光や非常に強い光を避け、他の熱源から離して設置してください。これらの環境に長時間さらされると、モニタが変色したり損傷する結果を招きます。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、モニタの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- モニタの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでモニタの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。(顧客ケア消費者情報センターにお問い合わせください)
- 操作中、モニタに強い振動を与えたり、衝撃を加えないでください。
- 操作または輸送中、またLCDを強く打ったり落としたりしないでください。

### メンテナンス

- モニタを損傷の可能性から保護するために、モニタパネルに過剰な圧力をかけないでください。モニタを動すときは、フレームをつかんで持ち上げてください。モニタパネルに手や指を置いてモニタを持ち上げないでください。
- 長時間使用しない場合は、電源ののプラグを抜いてください。
- 汚れのふき取りには、柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してモニタを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、モニタを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- モニタが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- モニタに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタマサポートにご連絡ください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でモニタを保管したり、使用したりしないでください。
- モニタの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る環境でモニタを使用してください。
  - 温度:0～40°C
  - 湿度:20～80% RH

### 焼き付き / ゴースト像に関する重要な情報

- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。
- 「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

**警告**

スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

### 修理

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。(「カスタマケアセンター」のページを参照してください)
- 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- 直射日光下の車内/トランクにモニタを放置しないでください。

**注**

モニタが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順が分からない場合、カスタマケアセンターにお問い合わせください。

## 1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

### 注、注意、警告

本書を通して、テキストのブロックｋにはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。 これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。 次のように使用されます。

**注**

このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。

**注意**

このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。

**警告**

このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

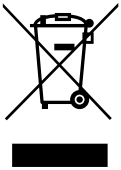
**注**

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。

## 1.3 製品と梱包材料の廃棄

### 廃電気電子機器 – WEEE



This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

### Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

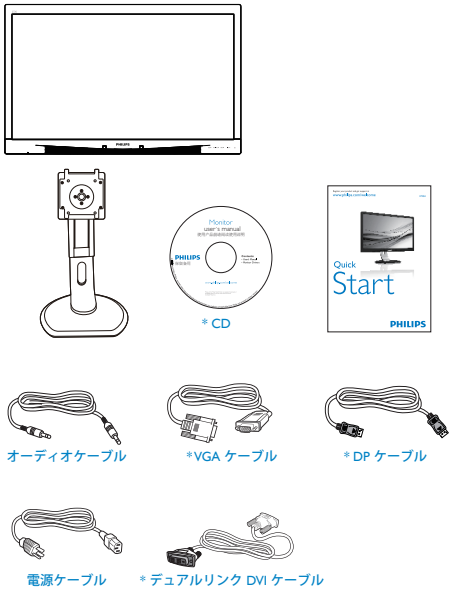
To learn more about our recycling program please visit:

http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html

# 2. モニタをセットアップする

## 2.1 取り付け

### 1 パッケージに含まれるもの



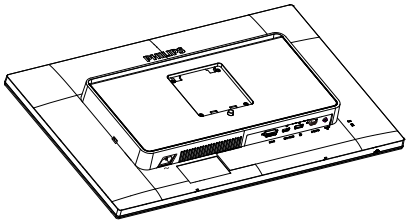

* 地域によって異なります。

**注**

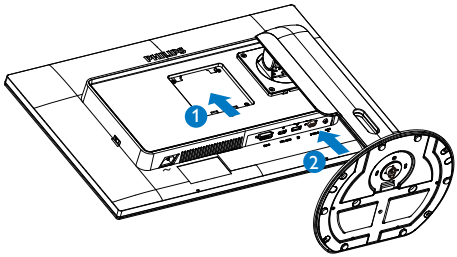
販売する国・地域により付属されるケーブルが異なることがございます。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

### 2 ベーススタンドの取り付け

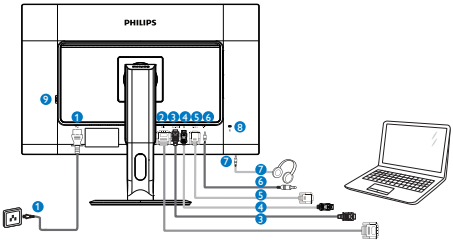
1. モニタ面を下にして、滑らかな面に置きます。画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。




2. 両手でスタンドを持ちます。
   (1) VESA マウント部の掛け金がロックされるまでゆっくりとスタンドを取り付けます。
   (2) ベースをスタンドにそっと取り付けます。



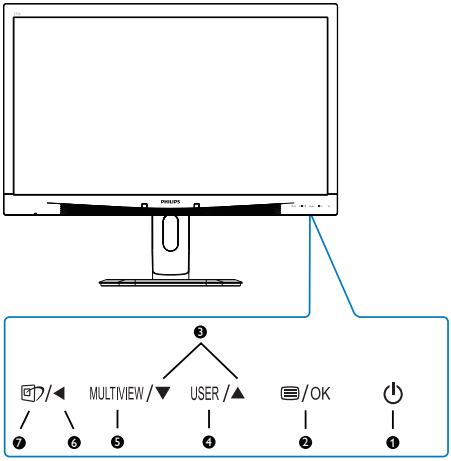
### 3 コンピュータに接続する




❶ AC 電源入力
❷ DVI 入力
❸ MHL-HDMI 入力
❹ ディスプレイポート入力
❺ VGA 入力
❻ オーディオ入力
❼ イヤホンジャック
❽ Kensington ロック
❾ ゼロパワースイッチ

## 2.2 モニタを操作する

### 1 コントロールボタンの説明

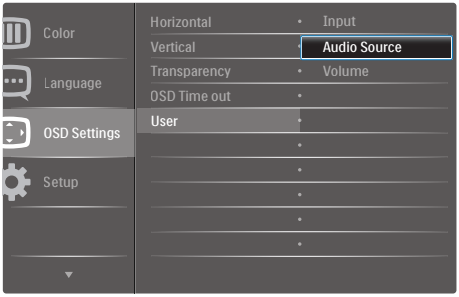



| | | |
|---|---|---|
| ❶ | ⏻ | モニタのスイッチの ON と OFF を切り替えます。 |
| ❷ | /OK | OSD メニューにアクセスします。OSD 調整を確認します。 |
| ❸ | ▲▼ | OSD メニューを調整します。 |
| ❹ | USER | ユーザーのお気に入りキー。OSD から独自のお気に入りの機能をカスタマイズして、「ユーザーキー」にします。 |
| ❺ | MULTIVIEW | PIP/PBP/Off( オフ )/Swap( スワップ ) |
| ❻ | ◀ | 前の OSD レイヤに戻ります。 |
| ❼ | | SmartImage ホットキー。 次の 6 つのモードを選択できます：Office( オフィス )、Photo( 写真 )、 Movie( 動画 )、Game( ゲーム )、Economy( エコノミー )、Off( オフ )。 |

### 2 独自の「USER」( ユーザー ) キーをカスタマイズする

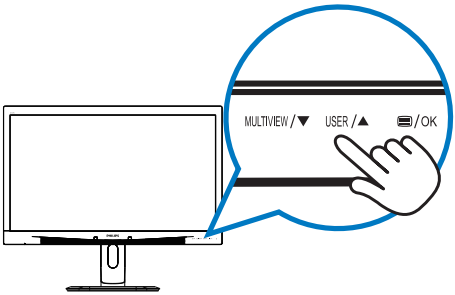
このホットキーでは、お気に入りの機能キーをセットアップできます。

1. 前面ベゼルの ☰ ボタンを押して、OSDメニュー画面に入ります。

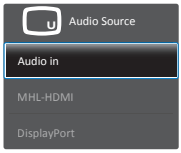



2. ▲または▼ボタンを押してメインメニュー[OSD Settings]（**OSD設定**）を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して[User]（**ユーザー**）を選択し、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して、次のお気に入りの機能を選択します：[Input]（**入力**）、[Audio Source]（**オーディオソース**）、[Volume]（**音量**）。
5. OKボタンを押して選択を確認します。

前面ベゼルでホットキーUSERを直接押すことができるようになりました。 事前選択された機能のみがクイックアクセス用に表示されます。




例えば、ホットキーとして [Audio Source]（**オーディオソース**）を選択した場合、前面ベゼルのUSERボタンを押すと、[Audio Source]（**オーディオソース**）メニューが表示されます。

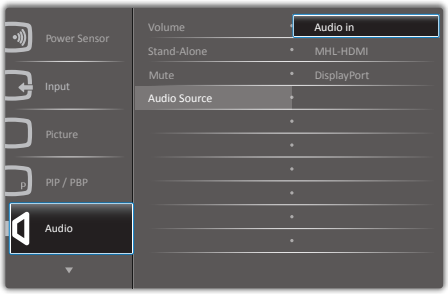



## 3 ビデオ入力に依存しない独立したオーディオ再生

Philips モニタは、ビデオ入力に依存せずに、オーディオソースを独立して再生できます。

例えば、このモニタの [Audio In]（**オーディオイン**）ポートに接続されたオーディオソースから MP3 プレーヤーを再生しながら、[MHL-HDMI]、[DisplayPort] から接続されたビデオソースを聴取することができます。

1. 前面ベゼルの ☰ ボタンを押して、OSDメニュー画面に入ります。




2. ▲または▼ボタンを押してメインメニュー[Audio]（**オーディオ**）を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して[Audio Source]（**オーディオソース**）を選択し、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して、次のお気に入りのオーディオソースを選択します：[DisplayPort]、[MHL-HDMI]、[Audio In]（**オーディオイン**）。
5. OKボタンを押して選択を確認します。

**注**

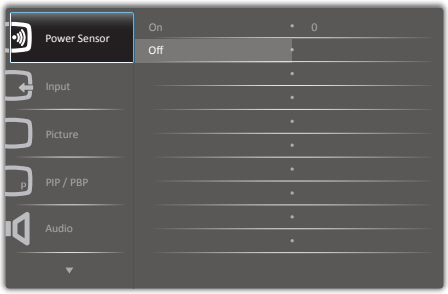
- 次にこのモニタをオンにすると、最後に選択したオーディオソースがデフォルトで選択されます。

- これを変更してデフォルトとしてお気に入りのオーディオソースを新しく選択するには、選択ステップを再び行う必要があります。

## 4 オンスクリーンディスプレイの説明

### オンスクリーンディスプレイ (OSD) とは？

オンスクリーンディスプレイ (OSD) はすべての Philips モニタに装備されています。これにより、ユーザーはオンスクリーンの指示ウィンドウを通して直接画面パフォーマンスを調整したりモニタの機能を選択したりできます。 オンスクリーンディスプレイインターフェースは、以下のように表示されます：




### コントロールキーの基本および簡単な指示

上に示した OSD で、モニタ前面ベゼルの ▲▼ ボタンを押してカーソルを動かしたり、OKボタンを押して選択または変更を確認できます。

### OSD メニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。 後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください。

| Main menu | Sub menu | |
|---|---|---|
| PowerSensor | On | 0, 1, 2, 3, 4 |
| | Off | |
| Input | VGA | |
| | DVI | |
| | MHL-HDMI | |
| | DisplayPort | |
| Picture | Picture Format | Wide screen, 4:3, 16:9, 1:1 |
| | Brightness | 0~100 |
| | Contrast | 0~100 |
| | Sharpness | 0~100 |
| | SmartResponse | Off, Fast, Faster, Fastest |
| | SmartContrast | On, Off |
| | Gamma | 1.8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6 |
| | Over Scan | On, Off |
| PIP / PBP | PIP / PBP Mode | Off, PIP, PBP |
| | PIP / PBP Input | VGA, DVI, MHL-HDMI, DisplayPort |
| | PIP Size | Small, Middle, Large |
| | PIP Position | Top-Right, Top-Left, Bottom-Right, Bottom-Left |
| | Swap | |
| Audio | Volume | 0~100 |
| | Stand-Alone | On, Off |
| | Mute | On, Off |
| | Audio Source | Audio in, MHL-HDMI, DisplayPort |
| Color | Color Temperature | 5000K, 6500K, 7500K, 8200K, 9300K, 11500K |
| | sRGB | |
| | User Define | Red: 0~100 |
| | | Green: 0~100 |
| | | Blue: 0~100 |
| Language | English, Deutsch, Español, Ελληνική, Français, Italiano, Maryar, Nederlands, Português, Português do Brasil, Polski, Русский, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Українська, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어 | |
| OSD Settings | Horizontal | 0~100 |
| | Vertical | 0~100 |
| | Transparency | Off, 1, 2, 3, 4 |
| | OSD Time Out | 5s, 10s, 20s, 30s, 60s |
| | User | Input, Audio Source, Volume |
| Setup | Auto | |
| | Power LED | 0, 1, 2, 3, 4 |
| | H-Position | 0~100 |
| | V-Position | 0~100 |
| | Phase | 0~100 |
| | Clock | 0~100 |
| | Resolution Notification | On, Off |
| | DisplayPort | 1.1, 1.2 |
| | Reset | Yes, No |
| | Information | |

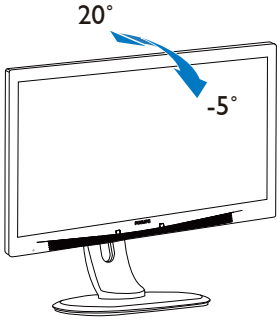
## 5 解像度通知

このモニタは、そのネーティブ解像度 2560 × 1440 @ 60 Hz で最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。 モニタが異なる解像度で作動しているとき、画面にアラートが表示されます。2560 × 1440 @ 60 Hz を使用してください。

解像度アラートの表示は、OSD ( オンスクリーンディスプレイ ) メニューの Setup( セットアップ ) からオフに切り替えることができます。

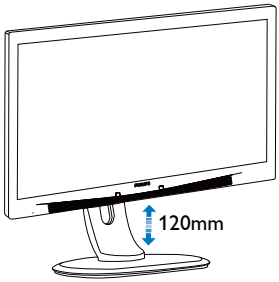
## 6 向度調整

### チルト

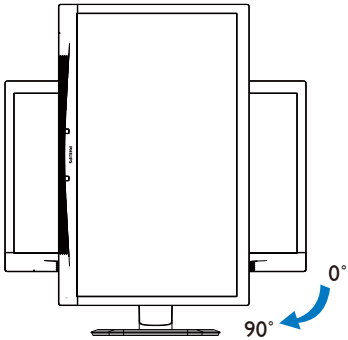



### スイベル

### 高さ調節




### ピボット



## 2.3 MultiView

### 1 MHL とは？

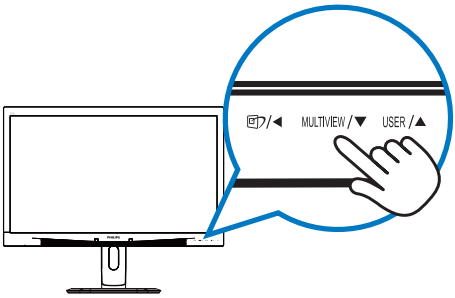
Multiview により、アクティブなデュアル接続が可能になり、デスクトップ PC やノート PC のような複数のデバイスを同時に並べて使用できるようになるため、複雑なマルチタスク作業がやりやすくなります。

### 2 必要な理由は？

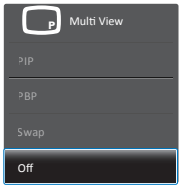
超高解像度 Philips MultiView ディスプレイでは、職場でも家庭でも便利な接続性を享受できます。このディスプレイを使用することで、1 つの画面で複数のコンテンツソースを簡単にお楽しみになれます。
例：小さなウィンドウでオーディオをオンにしたままライブニュースビデオを見ながら、最新のブログに取り組んだり、ウルトラブックから Excel ファイルを編集しながら、安全な会社のイントラネットにログインしてデスクトップからファイルにアクセスしたいと思ったことがあるかもしれません。

### 3 ホットキーで MultiView を有効にするにはどうすればいいのですか？

1. 前面ベゼルでホットキーMULTIVIEWを直接押します。




2. MultiView 選択メニューが表示されます。▲または▼ボタンを押して選択します。

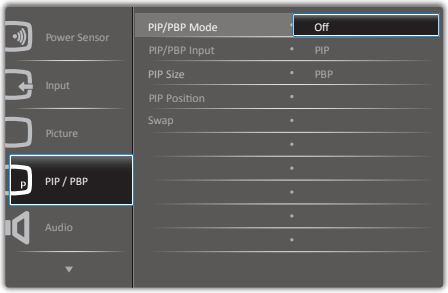



3. OKボタンを押して選択を確認すると、自動的に終了します。

### 4 OSD メニューで MultiView を有効にするにはどうすればいいのですか？

前面ベゼルでホットキーMULTIVIEWを直接押すだけでなく、MultiView 機能を OSD メニューで選択することもできます。

1. 前面ベゼルの ☰ ボタンを押して、OSD メニュー画面に入ります。



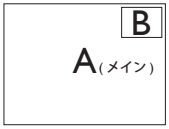

2. ▲または▼ボタンを押してメインメニューを選択し[PIP / PBP]、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して[PIP / PBP] Mode（PIP / PBPモード）を選択し、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して[PIP]または[PBP]を選択します。
5. 前に戻って[PIP / PBP Input]（PIP / PBP入力）、[PIP Size]（PIPサイズ）、[PIP Position]（PIP位置）、[Swap]（スワップ）を設定できるようになりました。
6. OKボタンを押して選択を確認します。

## 5 OSD メニューの MultiView

- **PIP / PBP Mode（PIP / PBPモード）**：MultiViewには、次の2つのモードがあります：[PIP]および[PBP]。

[PIP]：ピクチャインピクチャ

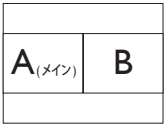
別の信号ソースのサブウィンドウを開きます。




サブソースが検出されない場合：

[PBP]：ピクチャバイピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを並べて開きます。




サブソースが検出されない場合：

**注**

PBP モードに入っているとき、画面の上下に黒いストライプが表示されると正しい縦横比になっています。

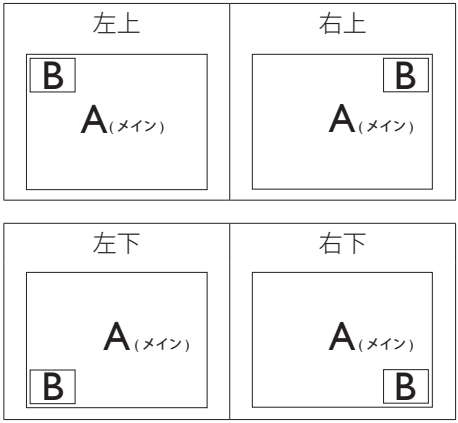
- **PIP / PBP Input(PIP / PBP入力)**：サブディスプレイソースとして、次の4つの異なるビデオ入力を選択できます：[VGA]、[DVI]、[MHL-HDMI]、[DisplayPort]。

メイン / サブ入力ソースの互換性については、以下の表を参照してください。

| MultiView | 入力 | サブソースの可能性 (xl) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | VGA | DP | DVI | MHL-HDMI |
| メインソース (xl) | VGA | | ● | ● | ● |
| | DP | ● | | ● | ● |
| | DVI | ● | ● | | ● |
| | MHL-HDMI | ● | ● | ● | |

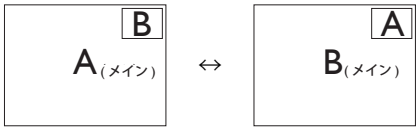
- **PIP Size（PIPサイズ）**：PIPがアクティブになっているとき、次の3つのサブウィンドウサイズを選択できます。[Small]（小）、[Middle]（中）、[Large]（大）。

- **PIP Position（PIP位置）**：PIPがアクティブになっているとき、次の4つのサブウィンドウ位置を選択できます。

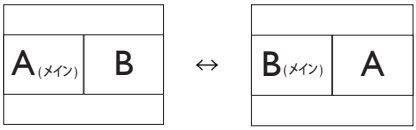



- **Swap（スワップ）**：ディスプレイでスワップされたメインピクチャソースとサブピクチャソース。

[PIP] モードの A と B ソースのスワップ：




[PBP] モードの A と B ソースのスワップ：



- **Off（オフ）**：MultiView機能を停止します。

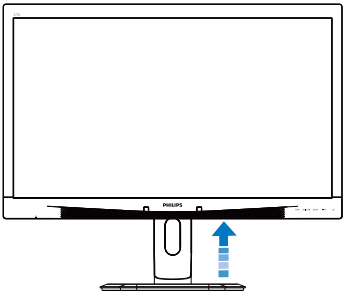
**注**

スワップ機能を実行すると、ビデオとそのオーディオソースが同時にスワップされます。（詳細については 6 ページの「**ビデオ入力に依存しない独立したオーディオ再生**」を参照してください。）

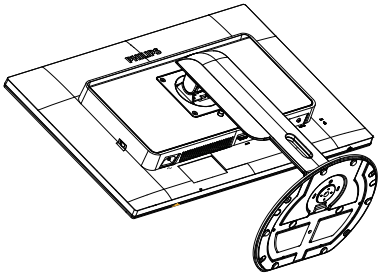
## 2.4 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし

破損や負傷を防ぐため、モニタベースの取り外しを始める前に下記の指示に従ってください。

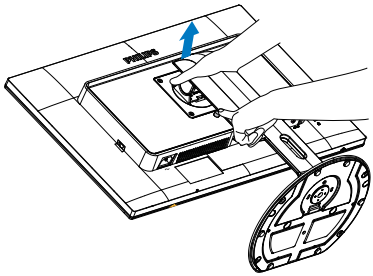
1. モニタベースを最大高さまで伸ばします。



2. モニタ面を下にして、滑らかな面に置きます。画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。モニタスタンドを持ち上げます。

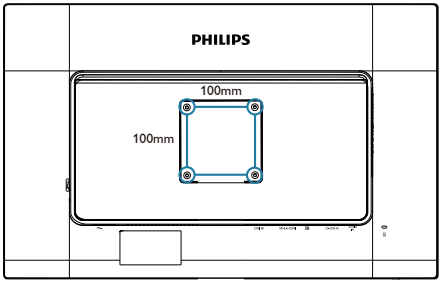


3. リリースボタンを押したまま、ベースを傾けて、スライドしてはずします。



**注**

このモニタは 100mm x 100mm VESA 準拠の取り付けインターフェースを受け入れます。



# 3. 画像の最適化

## 3.1 SmartImage

### 1 MHL とは？

SmartImage はさまざまな種類のコンテンツ用のディスプレイを最適化するようにプリセットされて、輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整します。 テキストアプリケーションで作業しているか、画像を表示しているか、ビデオを見ているかに関わらず、Philips SmartImage は最適化された最高のモニタパフォーマンスを発揮します。

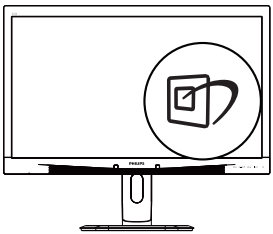
### 2 必要な理由は？

あなたはお気に入りのタイプのコンテンツをすべて最適化された状態で表示するモニタを必要としています。SmartImage ソフトウェアは輝度、 コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整し、あなたのモニタの鑑賞体験を向上します。

### 3 これは、どのように作動するのですか？

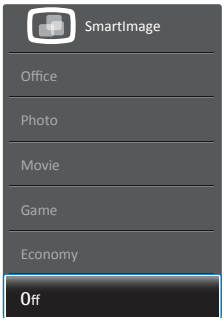
SmartImage は画面に表示されたコンテンツを分析する Philips 独自の最先端技術です。選択したシナリオに基づき、SmartImage は画像のコントラスト、彩度、シャープネスをダイナミックに強化して表示されるコンテンツを強化します。すべては 1 つのボタンを押すだけでリアルタイムで行われます。

### 4 SmartImage はどのようにして有効にするのですか？



1. を押して画面ディスプレイで SmartImageを起動します。
2. ▲▼を押し続けると、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、Off(オフ)が切り替わります。
3. 画面ディスプレイのSmartImageは5秒間画面に表示されています。またはOKボタンを押して確認することもできます。

次の 6 つのモードを選択できます：Office( オフィス )、Photo( 写真 )、Movie( 動画 )、Game( ゲーム )、Economy( エコノミー )、Off( オフ )。




- **Office(オフィス)**：テキストを強化して輝度を抑えることで読みやすさを向上し、目の疲れを和らげます。スプレッドシート、PDFファイル、スキャンされた記事、その他の一般的オフィスアプリケーションで作業しているとき、このモードは読みやすさと生産性を大幅に向上します。
- **Photo(写真)**：このプロファイルは彩度、ダイナミックコントラスト、シャープネス強化を組み合わせて、写真やその他の画像を躍動感にあふれる色でくっきりと表示します。アーティファクトが生じたり色がぼやけることはありません。
- **Movie(動画)**：輝度を上げ、彩度、ダイナミックコントラスト、レーザーシャープネスを深め、ビデオの暗い領域を細部まで表示します。明るい領域の色落ちはなく、ダイナミックな自然値を維持して究極のビデオ表示を実現します。
- **Game(ゲーム)**：駆動回路上でオンにすると画面で動く物体の応答時間が速くな

り、ぎざぎざの縁が減少して、明るいスキームや暗いスキームのコントラスト比が向上します。このプロファイルはゲーマーに最高のゲーム体験を提供します。

- **Economy(エコノミー)**：このプロファイルの下で、輝度、コントラストが調整され、毎日のオフィスアプリケーションを適切に展示するためにバックライトを微調整して、消費電力を下げます。
- **Off(オフ)**：SmartImageで最適化はされません。

## 3.2 SmartContrast

### 1 MHL とは？

表示されたコンテンツをダイナミックに分析したり、モニタのコントラスト比を自動的に最適化して映像の明瞭さを最大限に高めたり、バックライトを強化することでクリアで、くっきりした、明るい画像を実現したり、バックライトを薄暗くすることで暗い背景で画像をクリアに表示したりする独特な技術です。

### 2 必要な理由は？

SmartContrast はコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、見やすいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。 モニタの消費電力を抑えることで、エネルギーコストを節約し、モニタの寿命を延ばすとができます。

### 3 これは、どのように作動するのですか？

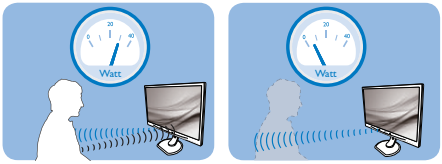
SmartContrast をアクティブにするとき、表示しているコンテンツをリアルタイムで分析して色を調整し、バックライト強度を制御します。 この機能はビデオを表示したりゲームをプレーしているとき、コントラストをダイナミックに強化して素晴らしいエンタテインメント体験を体験できるようにします。

# 4. PowerSensor™

## 1 これは、どのように作動するのですか？

- PowerSensorはユーザーの存在を検出するために、無害な「赤外線」信号の送受信の原理で作動します。
- ユーザーがモニタの正面にいる場合、モニタはユーザーが設定した事前定義された設定(輝度、コントラスト、色など)で通常作動します。
- 例えば、モニタが100%の輝度に設定されていると仮定して、ユーザーが席を離れモニタの前にいなくなった場合、モニタは電力消費を最大80%自動的に削減します。

ユーザーが正面にいる　ユーザーがいない




上に示した電力消費は参照目的のみです。

## 2 設定

### デフォルトの設定

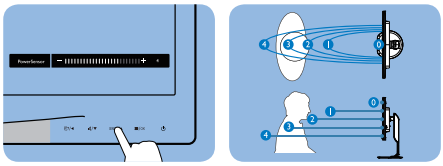
PowerSensor（パワーセンサー）はディスプレイから 30 ～ 100 cm の間、およびモニタの左右に 5 度以内にあるユーザーの存在を検出するように設計されています。

### カスタム設定

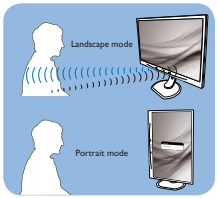
上に一覧した周囲の外側の位置の方を好む場合、最適の検出効率についてより強い信号を選択してください。 設定が高いほど、検出信号は強くなります。 PowerSensor の効率を最大限に高め適切に検出するために、自分自身をモニタの真正面に置いてください。

- モニタから100 cm以上自分を離して置くことを選択した場合、120 cmまでの距離に対して最大検出信号を使用してください。(設定4)
- ユーザーがディスプレイから100 cm以内の距離にいる場合でも暗い色の衣服を着ていると赤外線信号を吸収する傾向があるため、黒や他の暗い衣服を着ているときは信号強度を強くしてください。

ホットキー　センサーの距離




横置き / 縦置きモード ( 選択モデルの場合 )




上のイラストは参照目的のみで、本モデルの正確なディスプレイを反映しないことがあります。

### 設定の調整方法

PowerSensor がデフォルトの範囲内でまたは外で正しく作動していない場合、以下の検出を微調整する方法を参照してください。

- PowerSensor（パワーセンサー）ホットキーとして機能するようにUSERボタンをカスタマイズします。独自の「USER」(ユーザー)キーをカスタマイズするセクションを参照してください。(ディスプレイに「Sensor」(センサー)ホットキーが付いている場合、次のステップに進んでください。)
- PowerSensorホットキーを押します。
- 調整バーが表示されます。
- PowerSensor検出調整を設定4に調整して、OKを押します。
- 新しいセットアップをテストして、PowerSensorが現在の位置で適切にあなたを検出するか調べます。
- PowerSensor機能は、横置きモード(水平位置)でのみ作動するように設計されています。PowerSensorの電源がオンになると、モニタが縦置きモード(90度/垂直位置)で使用されている場合自動的にオフになります。モニタがデフォルトの横置き位置に戻ると自動的にオンになります。

**注**

手動で選択した PowerSensor モードが再調整されない限り、またはデフォルトモードが呼び出されるまで、現在のモードが作動し続けます。何らかの理由で、PowerSensor が近くの動きに過度に敏感に反応する場合、信号強度を低く調整してください。

# 5. MHL (モバイルハイディフィニションリンク)

## 1 MHL とは ?

モバイルハイディフィニションリンク (MHL) は携帯電話やその他のポータブルデバイスをハイディフィニションディスプレイに直接接続するためのモバイルオーディオ / ビデオインターフェースです。

オプションの MHL ケーブルにより、MHL 対応のモバイルデバイスをこの大型 Philips MHL ディスプレイに簡単に接続し、フルデジタルサウンドと共に HD ビデオを見ることができます。

この大型画面でモバイルゲーム、写真、動画、その他のアプリを楽しむことができるだけでなく、同時にモバイルデバイスを充電することもできるため途中で充電切れになることはありません。

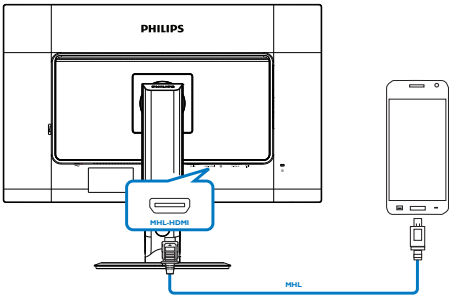
## 2 MHL 機能はどのように使用するのですか ?

MHL 機能を使用するには、MHL 認定のモバイルデバイスが必要です。 MHL 認定デバイスのリストを見つけるには、公式 MHL Web サイト (http：//www.mhlconsortium.org) にアクセスしてください

この機能を使用するには、オプションの MHL 認定の専用ケーブルも必要です。

## 3 これは、どのように作動するのですか ? ( どのように接続すればいいのですか ?)

オプションの MHL ケーブルをモバイルデバイス側のミニ USB ポートに接続し、[MHL-HDMI] とマークされたポートをモニタ側に接続します。 これで大型の画面ディスプレイに画像を表示して、モバイルデバイスでインターネットサーフィン、ゲーム、写真閲覧などの、すべての機能を操作できるようになりました。モニタにスピーカー機能が搭載されている場合、サウンドも聴くことができます。MHL ケーブルが切断されたり、モバイルデバイスがオフになったりすると、MHL 機能は自動的に無効になります。




### 注

- [MHL-HDMI]とマークされたポートは、MHLケーブルが使用されているときにMHL機能をサポートするポートです。MHLケーブルは、標準のHDMIケーブルとは異なります。
- MHL認定のモバイルデバイスは、別途購入する必要があります。
- 他のデバイスがすでに作動中で使用可能な入力に接続されている場合、モニタをアクティブにするにはモニタをMHL-HDMIモードに手動で切り替える必要があります。
- このPhilipsディスプレイはMHL認定を受けています。 ただし、MHLデバイスが正しく接続されていなかったり作動していない場合、MHLデバイスのFAQを確認するかメーカーに対応策をお問い合わせください。デバイスメーカーのポリシーでは、他社ブランドのMHLデバイスで作動させるために、そのブランド専用のMHLケーブルやアダプタを購入するように要求します。これは、Philipsディスプレイの責任ではありません。

# 6. 技術仕様

| 画像 / ディスプレイ | |
|---|---|
| モニタパネルの種類 | TFT 液晶 |
| バックライト | LED |
| パネルサイズ | 27" 幅 (68.6 cm) |
| 縦横比 | 16：9 |
| 画素ピッチ | 0.233 x 0.233 mm |
| SmartContrast | 20,000,000：1 |
| 応答時間 ( 標準 ) | 5 ms (GtG) |
| SmartResponse | 2 ms (GtG) |
| 最適解像度 | 2560 x 1440 @ 60 Hz |
| 表示角度 | 170°(H) / 160°(V)( 標準 ) @ C/R > 10 |
| 画像強調 | SmartImage |
| 表示色 | 1670 万 |
| 垂直リフレッシュレート | 56 Hz - 76 Hz |
| 水平周波数 | 30 kHz - 83 kHz |
| sRGB | あり |
| **入出力** | |
| 信号入力コネクター | DVI( デジタル )、VGA( アナログ )、DisplayPort、MHL-HDMI |
| 入力信号 | セパレート同期、緑で同期 |
| オーディオイン / アウト | PC オーディオイン、イヤホンアウト |
| **便宜** | |
| 内蔵スピーカー | 2 W x2 |
| ユーザーの便宜 | /◀ MULTIVIEW /▼ USER /▲ /OK ⏻ |
| OSD 言語 | 英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語 |
| その他 | VESA 取り付け (100 x 100 mm)、Kensington ロック |
| プラグアンドプレイ互換性 | DDC/CI、sRGB、Windows 10/8.1/8/7、Mac OSX |
| **スタンド** | |
| チルト | -5° / +20° |
| スイベル | -65° / +65° |
| 高さ調節 | 120 mm |
| ピボット調節 | 90° |

| 電源 | |
|---|---|
| オン | 47 W ( 標準 )、85 W ( 最大 ) |
| スリープ ( スタンバイ ) | < 0.5 W ( 標準 ) |
| オフ | < 0.3 W ( 標準 ) |
| オンモード（ECO モード） | 22 W ( 標準 ) |

| 電源 | | | |
|---|---|---|---|
| 消費エネルギー | AC 入力電圧 @100 V AC、50 Hz | AC 入力電圧 @115 V AC、60 Hz | AC 入力電圧 @230 V AC、50 Hz |
| 通常操作 | 46.9 W ( 標準 ) | 47 W ( 標準 ) | 47.1 W ( 標準 ) |
| スリープ ( スタンバイ ) | < 0.5 W ( 標準 ) | < 0.5 W ( 標準 ) | < 0.5 W ( 標準 ) |
| オフ | < 0.3 W ( 標準 ) | < 0.3 W ( 標準 ) | < 0.3 W ( 標準 ) |
| 熱放散 * | AC 入力電圧 @100 V AC、50 Hz | AC 入力電圧 @115 V AC、60 Hz | AC 入力電圧 @230 V AC、50 Hz |
| 通常操作 | 160.07 BTU/ 時 ( 標準 ) | 160.41BTU/ 時 ( 標準 ) | 160.75 BTU/ 時 ( 標準 ) |
| スリープ ( スタンバイ ) | < 1.37 BTU/ 時 ( 標準 ) | < 1.37 BTU/ 時 ( 標準 ) | < 1.37 BTU/ 時 ( 標準 ) |
| オフ | < 1.02 BTU/ 時 ( 標準 ) | < 1.02 BTU/ 時 ( 標準 ) | < 1.02 BTU/ 時 ( 標準 ) |
| 電源 LED インジケータ | オン：白、スタンバイ / スリープモード：白 ( 点滅 ) | | |
| 電源 | 内蔵、100 - 240 VAC、50-60 Hz | | |
| PowerSensor | 10W( 標準 ) | | |

| 寸法 | |
|---|---|
| 製品 ( スタンド付き ) ( 幅 x 高さ x 奥行き ) | 639 x 540 x 244 mm |
| 製品 ( スタンドなし ) ( 幅 x 高さ x 奥行き ) | 639 x 405 x 68 mm |
| 梱包サイズ ( スタンド付き ) ( 幅 x 高さ x 奥行き ) | 490 x 299 x 740 mm |
| **重量** | |
| 製品 ( スタンド付き ) | 6.72 kg |
| 製品 ( スタンドなし ) | 4.4 kg |
| 製品 ( 梱包付き ) | 10.6 kg |

| 環境条件 | |
|---|---|
| 温度 ( 操作時 ) | 0°C ～ 40°C |
| 相対湿度（操作時） | 20% ～ 80% |
| 気圧（操作時） | 700 ～ 1060hPa |
| 温度 ( 非操作時 ) | -20°C ～ 60°C |
| 湿度 ( 非操作時 ) | 10% ～ 90% |
| 気圧 ( 非操作時 ) | 500 ～ 1060hPa |

| 環境 | |
|---|---|
| ROHS | あり |
| 梱包 | 100 % リサイクル可能 |
| 特定物質 | 100 % PVC BFR を含まない筐体 |
| **適合規格** | |
| 規制認可 | CE Mark、FCC Class B、CU-EAC、TCO、TUV-GS、TUV-Ergo、ETL、 BSMI、PSB、RCM、SEMKO |

| キャビネット | |
|---|---|
| 色 | ブラック / シルバー |
| 仕上げ | テクスチャ |

**注**

1. このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。
2. スマートな応答時間は、GtG または GtG (BW) テストによる最適値です。

## 6.1 解像度とプリセットモード

**1 最大解像度**

2560 x 1440 @ 60 Hz ( デジタル入力 )

**2 推奨解像度**

2560 x 1440 @ 60 Hz ( デジタル入力 )

| 水平周波数 (kHz) | 解像度 | 垂直周波数 (Hz) |
|---|---|---|
| 31.47 | 720 x 400 | 70.09 |
| 31.47 | 640 x 480 | 59.94 |
| 35.00 | 640 x 480 | 66.67 |
| 37.86 | 640 x 480 | 72.81 |
| 37.5 | 640 x 480 | 75.00 |
| 37.88 | 800 x 600 | 60.32 |
| 46.88 | 800 x 600 | 75.00 |
| 48.36 | 1024 x 768 | 60.00 |
| 60.02 | 1024 x 768 | 75.03 |
| 44.77 | 1280 x 720 | 59.86 |
| 63.98 | 1280 x 1024 | 60.02 |
| 79.98 | 1280 x 1024 | 75.03 |
| 55.94 | 1440 x 900 | 59.89 |
| 70.64 | 1440 x 900 | 74.99 |
| 75.00 | 1600 x 1200 | 60.00 |
| 65.29 | 1680 x 1050 | 59.95 |
| 67.50 | 1920 x 1080 | 60.00 |
| 74.04 | 1920 x 1080 | 59.95 |
| 88.79 | 2560 x 1440 | 59.95 |

**注**

- ディスプレイは2560 x 1440 @ 60Hzの解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。
- DVIを使用している間、2560 x 1440の最大解像度にはDual-link DVIケーブルが必要です。
- HDMIでサポートされる最高の画面解像度は2560 x 1440ですが、グラフィックスカードとBluRay/ビデオプレーヤーの機能によって常に変わります。

## 6.2 きわめて明瞭

最新の Philips ディスプレイはきわめて明瞭な、2560x1440 の画像を表示します。Displayport、HDMI、Dual link DVI のような広帯域ソースによって有効になった、178/178 の広視野角の高密度画素数を持つ高性能パネルを利用することで、この新しいディスプレイは画像やグラフィックスを生き生きと描写します。 3D グラフィックスアプリケーションを使用して CAD-CAM ソリューションのきわめて詳細な情報を要求する厳しいプロであっても、大量のスプレッドシートで作業するする財務のやり手であっても、この Philips があればきわめて明瞭な画像を表示できます。

# 7. 電源管理

PC に VESA DPM 準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニタは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。 キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力が検出されると、モニタは自動的に「呼び起こされます」。 次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

| 電源管理の定義 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| VESA モード | ビデオ | 水平同期 | 垂直同期 | 使用電力 | LED 色 |
| アクティブ | オン | あり | あり | 47 W ( 標準 )、85 ( 最大 ) | 白 |
| スリープ ( スタンバイ ) | オフ | なし | なし | < 0.5 W ( 標準 ) | 白 ( 点滅 ) |
| オフ | オフ | - | - | < 0.3 W ( 標準 ) | オフ |

次のセットアップは、このモニタの消費電力を測定するために使用されます。

- ネーティブ解像度：2560 x 1440
- コントラスト：50%
- 輝度：100%
- 色温度：6500k(完全な白パターンの場合)
- オーディオ停止（オフ）

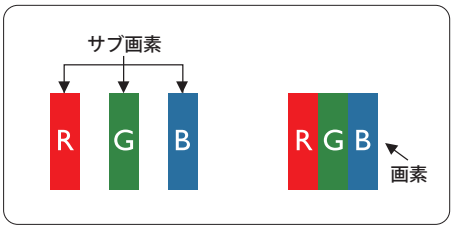
**注**

このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

# 8. カスタマサポートと保証

## 8.1 Philipsのフラットパネルモニタ画素欠陥ポリシー

Philips は最高品質の製品を提供するために懸命に努力してます。 当社は、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を使用しています。 しかしながら、フラットパネルモニタで使用される TFT モニタパネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。 すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、欠陥があるモニタを修理または交換することを保証します。 この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。 保証期間中の修理または交換の資格を取得するには、TFT モニタパネルの画素欠陥数がこれらの受け入れられるレベルを超えている必要があります。 例えば、モニタのサブ画素の 0.0004% を超えただけで欠陥となります。 さらに、Philips は特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社より顕著に高い品質基準を設けています。 このポリシーは全世界で有効です。




### 画素とサブ画素

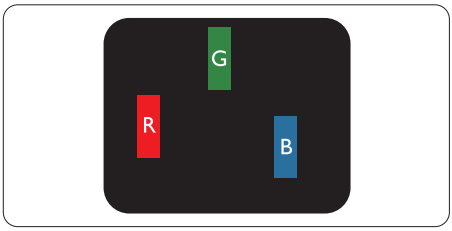
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の 3 つのサブ画素で構成されています。 多くの画素が集まって画像を形成します。 画素のすべてのサブ画素が明るいと、3 つの色の付いたサブ画素が 1 つの白い画素として一緒に表示されます。 すべての画素が暗くなると、3 つの色の付いたサブ画素は 1 つの黒い画素として集まって表示されます。 点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の 1 つの画素として表示されます。

### 画素欠陥の種類

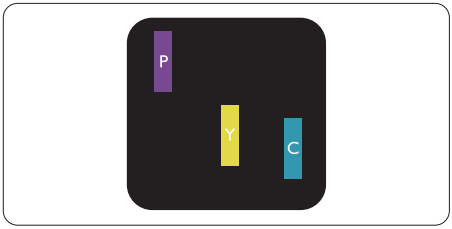
画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。 画素欠陥には 2 つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

### 明るいドット欠陥

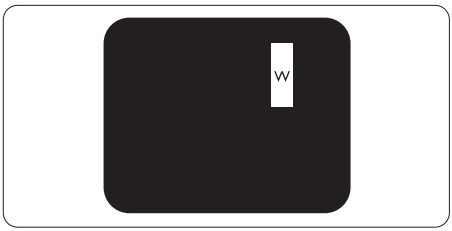
明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。 つまり、明るいドットはモニタが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。 以下に、明るいドット欠陥の種類を紹介します。




1 つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。




2 つの隣接する点灯サブ画素：
- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑 ( ライトブルー )



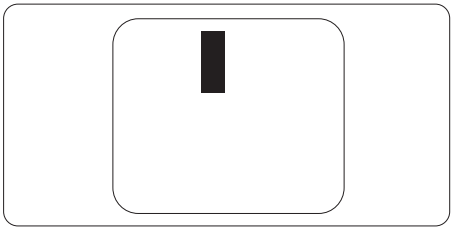

3 つの隣接する点灯サブ画素 (1 つの白い画素 )。

**注**

緑の明るいドットが近接したドットより 30 パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより 50 パーセント以上明るくなっている必要があります。

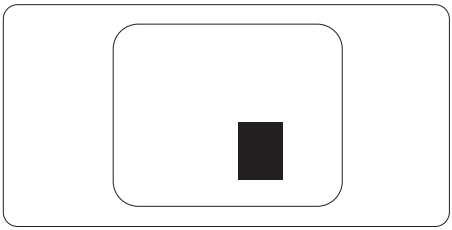
### 黒いドット欠陥

黒いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。 つまり、暗いドットはモニタが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。 以下に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



### 画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



### 画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips フラットパネルモニタの TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

| 明るいドット欠陥 | 受け入れられるレベル |
|---|---|
| 1 つの明るいサブ画素 | 3 |
| 2 つの隣接する点灯サブ画素 | 1 |
| 3 つの隣接する点灯サブ画素 (1 つの白い画素 ) | 0 |
| 2 つの明るいドット欠陥の間の距離 * | >15mm |
| すべての種類の明るいドット欠陥の総数 | 3 |

| 黒いドット欠陥 | 受け入れられるレベル |
|---|---|
| 1 つの暗いサブ画素 | 5 つ以下 |
| 2 つの隣接する暗いサブ画素 | 2 つ以下 |
| 3 つの隣接する暗いサブ画素 | 0 |
| 2 つの黒いドット欠陥の間の距離 * | >15mm |
| すべての種類の黒いドット欠陥の総数 | 5 つ以下 |

| ドット欠陥の総数 | 受け入れられるレベル |
|---|---|
| すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数 | 5 つ以下 |

**注**

1. 1 つまたは 2 つの隣接するサブ画素欠陥 = 1 つのドット欠陥
2. このモニタは ISO9241-307 準拠です (ISO9241-307：電子式画像表示に対するエルゴノミック要件、分析および準拠性テスト方法 ).
3. ISO9241-307 は、以前は ISO13406 として知られていた基準の後継となります。ISO（国際標準化機構）による改訂日は次のとおりです：2008-11-13.

## 8.2 カスタマサポートと保証

**西ヨーロッパ地域の連絡先情報：**

| 国 | CSP | ホットライン番号 | 価格 | 営業時間 |
|---|---|---|---|---|
| Austria | RTS | +43 0810 000206 | € 0.07 | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Belgium | Ecare | +32 078 250851 | € 0.06 | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Cyprus | Alman | 800 92 256 | Free of charge | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Denmark | Infocare | +45 3525 8761 | Local call tariff | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Finland | Infocare | +358 09 2290 1908 | Local call tariff | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| France | Mainteq | +33 082161 1658 | € 0.09 | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Germany | RTS | +49 01803 386 853 | € 0.09 | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Greece | Alman | +30 00800 3122 1223 | Free of charge | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Ireland | Celestica | +353 01 601 1161 | Local call tariff | Mon to Fri : 8am - 5pm |
| Italy | Anovo Italy | +39 840 320 041 | € 0.08 | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Luxembourg | Ecare | +352 26 84 30 00 | Local call tariff | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Netherlands | Ecare | +31 0900 0400 063 | € 0.10 | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Norway | Infocare | +47 2270 8250 | Local call tariff | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Poland | MSI | +48 0223491505 | Local call tariff | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Portugal | Mainteq | 800 780 902 | Free of charge | Mon to Fri : 8am - 5pm |
| Spain | Mainteq | +34 902 888 785 | € 0.10 | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Sweden | Infocare | +46 08 632 0016 | Local call tariff | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| Switzerland | ANOVO CH | +41 02 2310 2116 | Local call tariff | Mon to Fri : 9am - 6pm |
| United Kingdom | Celestica | +44 0207 949 0069 | Local call tariff | Mon to Fri : 8am - 5pm |

**中国の連絡先情報：**

| 国 | コールセンター | 顧客ケア番号 |
|---|---|---|
| China | PCCW Limited | 4008 800 008 |

**北米の連絡先情報：**

| 国 | コールセンター | 顧客ケア番号 |
|---|---|---|
| U.S.A. | EPI-e-center | (877) 835-1838 |
| Canada | EPI-e-center | (800) 479-6696 |

## 中央および東ヨーロッパ地域の連絡先情報：

| 国 | コールセンター | CSP | 顧客ケア番号 |
|---|---|---|---|
| Belarus | NA | IBA | +375 17 217 3386<br>+375 17 217 3389 |
| Bulgaria | NA | LAN Service | +359 2 960 2360 |
| Croatia | NA | MR Service Ltd | +385 (01) 640 1111 |
| Czech Rep. | NA | Asupport | +420 272 188 300 |
| Estonia | NA | FUJITSU | +372 6519900 (General)<br>+372 6519972 (workshop) |
| Georgia | NA | Esabi | +995 322 91 34 71 |
| Hungary | NA | Profi Service | +36 1 814 8080 (General)<br>+36 1814 8565 (For AOC&Philips only) |
| Kazakhstan | NA | Classic Service l.l.c. | +7 727 3097515 |
| Latvia | NA | ServiceNet LV | +371 67460399<br>+371 27260399 |
| Lithuania | NA | UAB Servicenet | +370 37 400160 (general)<br>+370 7400088 (for Philips) |
| Macedonia | NA | AMC | +389 2 3125097 |
| Moldova | NA | Comel | +37322224035 |
| Romania | NA | Skin | +40 21 2101969 |
| Russia | NA | CPS | +7 (495) 645 6746 |
| Serbia&Montenegro | NA | Kim Tec d.o.o. | +381 11 20 70 684 |
| Slovakia | NA | Datalan Service | +421 2 49207155 |
| Slovenia | NA | PC H.and | +386 1 530 08 24 |
| the republic of Belarus | NA | ServiceBy | +375 17 284 0203 |
| Turkey | NA | Tecpro | +90 212 444 4 832 |
| Ukraine | NA | Topaz | +38044 525 64 95 |
| Ukraine | NA | Comel | +380 5627444225 |

## ラテンアメリカ地域の連絡先情報：

| 国 | コールセンター | 顧客ケア番号 |
|---|---|---|
| Brazil | Vermont | 0800-7254101 |
| Argentina | | 0800 3330 856 |

## APMEA 地域の連絡先情報：

| 国 | ASP | 顧客ケア番号 | 営業時間 |
|---|---|---|---|
| Australia | AGOS NETWORK PTY LTD | 1300 360 386 | Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm |
| New Zealand | Visual Group Ltd. | 0800 657447 | Mon.~Fri. 8:30am-5:30pm |
| Hong Kong<br>Macau | Company: Smart Pixels Technology Ltd. | Hong Kong:<br>Tel: +852 2619 9639<br>Macau:Tel: (853)-0800-987 | Mon.~Fri. 9:00am-6:00pm<br>Sat. 9:00am-1:00pm |
| India | REDINGTON INDIA LTD | Tel: 1 800 425 6396<br>SMS: PHILIPS to 56677 | Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm |
| Indonesia | PT. CORMIC SERVISINDO PERKASA | +62-21-4080-9086 (Customer Hotline)<br>+62-8888-01-9086 (Customer Hotline) | Mon.~Thu. 08:30-12:00; 13:00-17:30<br>Fri. 08:30-11:30; 13:00-17:30 |
| Korea | Alphascan Displays, Inc | 1661-5003 | Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm<br>Sat. 9:00am-1:00pm |
| Malaysia | R-Logic Sdn Bhd | +603 5102 3336 | Mon.~Fri. 8:15am-5:00pm<br>Sat. 8:30am-12:30am |
| Pakistan | TVONICS Pakistan | +92-213-6030100 | Sun.~Thu. 10:00am-6:00pm |
| Singapore | Philips Electronics Singapore Pte Ltd (Philips Consumer Care Center) | (65) 6882 3966 | Mon.~Fri. 9:00am-6:00pm<br>Sat. 9:00am-1:00pm |
| Taiwan | FETEC.CO | 0800-231-099 | Mon.~Fri. 09:00 - 18:00 |
| Thailand | Axis Computer System Co., Ltd. | (662) 934-5498 | Mon.~Fri. 8:30am~05:30pm |
| South Africa | Computer Repair Technologies | 011 262 3586 | Mon.~Fri. 8:00am~05:00pm |
| Israel | Eastronics LTD | 1-800-567000 | Sun.~Thu. 08:00-18:00 |
| Vietnam | FPT Service Informatic Company Ltd. - Ho Chi Minh City Branch | +84 8 38248007 Ho Chi Minh City<br>+84 5113.562666 Danang City<br>+84 5113.562666 Can tho Province | Mon.~Fri. 8:00-12:00, 13:30-17:30,Sat. 8:00-12:00 |
| Philippines | EA Global Supply Chain Solutions ,Inc. | (02) 655-7777; 6359456 | Mon.~Fri. 8:30am~5:30pm |
| Armenia<br>Azerbaijan<br>Georgia<br>Kyrgyzstan<br>Tajikistan | Firebird service centre | +97 14 8837911 | Sun.~Thu. 09:00 - 18:00 |
| Uzbekistan | Soniko Plus Private Enterprise Ltd | +99871 2784650 | Mon.~Fri. 09:00 - 18:00 |
| Turkmenistan | Technostar Service Centre | +(99312) 460733, 460957 | Mon.~Fri. 09:00 - 18:00 |
| Japan | フィリップスモニター・サポートセンター | 0120-060-530 | Mon.~Fri. 10:00 - 17:00 |

# 9. トラブルシューティング& FAQ

## 9.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。 これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

### 1 よくある問題

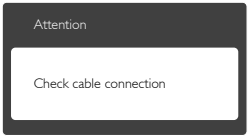
**写真が表示されない ( 電源 LED が点灯しない )**

- 電源コードがコンセントとモニタ背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、モニタ前面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認してから、オン位置まで押します。

**写真が表示されない ( 電源 LED が白くなっている )**

- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- モニタケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります。

**画面に次のようなメッセージが表示される**




- モニタケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。(また、クイックスタートガイドも参照してください)。
- モニタケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

**AUTO( 自動 ) ボタンが機能しない**

- 自動機能はVGA-Analog (VGAアナログ)モードでのみ適用可能です。結果が満足のゆくものでない場合、OSDメニューを通して手動調整を行うことができます。

**注**

Auto( 自動 ) 機能は、DVI-Digital (DVI デジタル ) 信号モードでは必要ないため適用されません。

**煙やスパークの明らかな兆候がある**

- いかなるトラブルシューティング手順の行わないでください
- 安全のため、直ちに主電源からモニタの接続を切ってください
- 直ちに、Philipsカスタマサポートに連絡してください。

### 2 画像の問題

**画像が中央に表示されない**

- OSDメインコントロールで「Auto」(自動)機能を使用して、画像位置を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase(フェーズ)/Clock(クロック)を使用して、画像位置を調整してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

**画像が画面で揺れる**

- 信号ケーブルがグラフィックスボードやPCにしっかり、適切に接続されていることを確認してください。

**垂直フリッカが表示される**

- OSDメインコントロールで「Auto」(自動)機能を使用して、画像を調整してください。

- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase(フェーズ)/Clock(クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

### 水平フリッカーが表示される

- OSDメインコントロールで「Auto」(自動)機能を使用して、画像を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase(フェーズ)/Clock(クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

### 画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える

- オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

### 電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。

- 長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はモニタパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。
- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
- 静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。
- スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

### 画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。

- PCのディスプレイ解像度をモニタの推奨される画面のネーティブ解像度と同じモードに設定してください。

### 緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される

- ドットが消えずに残るのは今日の技術で使用される液晶の通常の特性です。詳細については、画素ポリシーを参照してください。

### 「電源オン」ライトが強すぎて、邪魔になる

- OSDのメインコントロールの電源LEDセットアップを使用して、「電源オン」ライトを調整できます。

## 3 オーディオの問題

### 音が出ない

- オーディオケーブルがPCとモニタに正しく接続されているか、チェックしてください。
- オーディオが消音になっていないことを確認してください。OSD「Menu」(メニュー)を押し、「Audio」(オーディオ)、「Mute」(消音)の順に選択します。「オフ」位置になっていないかチェックします。
- OSDメインコントロールで「Volume」(音量)を押して、音量を調整します。

## 4 USB の問題

### USB 周辺機器が動作しない

- USBアップストリームケーブルがモニターに正しく接続されているか確認してください。
- もう一度モニターの電源を入れ直します。PCにUSBドライバーをインストール/再インストールする必要があるかもしれません。そしてハブがアクティブであることを確認してください。
- USB周辺機器を再接続します。

詳細については、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

## 9.2 一般FAQ

**Q1: モニタを取り付けるとき、画面に「Cannot display this video mode」( このビデオモードを表示できません ) というメッセージが表示された場合、どうすればいいのですか?**

**回答:** このモニタの推奨される解像度: 2560 x 1440 @ 60 Hz。

- すべてのケーブルを抜き、PCを以前使用していたモニタに接続します。
- WindowsのStart(スタート)メニューで、Settings(設定)/Control Panel(コントロールパネル)を選択します。コントロールパネルウィンドウで、画面アイコンを選択します。Display(画面)のコントロールパネル内部で、「Settings」(設定)タブを選択します。Setting(設定)タブの下の、「デスクトップ領域」とラベルされたボックスで、スライダを2560 x 1440画素に動かします。
- 「Advanced Properties」(詳細プロパティ)を開き、Refresh Rate(リフレッシュレート)を60 Hzに設定し、OKをクリックします。
- コンピュータを再起動し、2と3の手順を繰り返してPCが2560 x 1440 @ 60 Hzに設定されていることを確認します。
- コンピュータを停止し、古いモニタを取り外し、Philipsモニタを再接続します。
- モニタの電源をオンにしてから、PCの電源をオンにします。

**Q2: モニタの推奨されるリフレッシュレートは何ですか?**

**回答:** モニタの推奨リフレッシュレートは 60 Hz です。画面に乱れがある場合は 75 Hz まで上げてこれが解決されるか確認してください。

**Q3: ユーザーマニュアルの .inf と .icm ファイルは何のためのものですか? ドライバ (.inf と .icm) はどのようにインストールできますか?**

**回答:** これらは、モニタ用のドライバファイルです。ユーザーマニュアルの指示に従って、ドライバをインストールしてください。モニタを初めてインストールするとき、モニタドライバ (.inf と .icm ファイル ) またはドライバディスクを求められます。

**Q4: 解像度はどのように調整すればいいのですか?**

**回答:** ビデオカード / グラフィックドライバとモニタは使用可能な解像度を一緒に決定します。Windows® のコントロールパネルの「Display properties(画面のプロパティ)」でお好みの解像度を選択することができます。

**Q5: OSD を通してモニタを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか?**

**回答:** ボタンを押してから、「Reset」( リセット ) を押してオリジナルの工場出荷時設定をすべてリコールします。

**Q6: モニタ画面はひっかき傷への耐性がありますか?**

**回答:** 一般に、パネル面に過度の衝撃を与えず、鋭いまたは先の尖た物体から保護するようにお勧めします。モニタを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかっていないことを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。

**Q7: モニタ表面はどのようにして清掃すればいいのですか?**

**回答:** 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。

**Q8: モニタの色設定を変更できますか?**

**回答:** はい、OSD コントロールを介して、次の手順で色設定を変更できます。

- ボタンを押してOSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューを表示します。
- ▼ボタンを押してオプション「Color」(色)を選択し、OKボタンを押して色設定に入ります。以下のように、3つの設定があります。

1. Color Temperature( 色温度 )：5000K、6500K、7500K、8200K、9300K、11500K の 6 つの設定があります。5000K 範囲で設定されている場合、パネルには「温かい、赤 - 白色調で」と、また 11500K 温度範囲では、「冷たい青 - 白色調」というメッセージが表示されます。

2. sRGB：これは、標準設定で、異なるデバイス ( 例えば、デジタルカメラ、モニタ、プリンタ、スキャナなど ) 間で色が正しく変換されていることを確認します。

3. User Define( ユーザー定義 )： ユーザーは赤、緑、青色を調整することで、お気に入りの色設定を変更できます。

**注**

加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り ( ケルビン度 ) によって表されます。2004K など低いケルビン温度は赤で、9300K などの高い温度は青です。6504K での中間温度は、白です。

**Q9： モニタを PC、ワークステーション、Mac に接続できますか？**

**回答：** はい、できます。すべての Philips モニタは、標準の PC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Mac システムにモニタを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

**Q10： Philips モニタはプラグアンドプレイ対応ですか？**

**回答：** はい。モニタは Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7、Mac OSX でプラグアンドプレイに対応しています。

**Q11： モニタパネルの画像固着、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか？**

**回答：** 長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はモニタパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。

静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。

**警告**

スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

**Q12： 私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか？**

**回答：** お使いのモニタは 2560 x 1440 @ 60 Hz のネーティブ解像度で最高の機能を発揮します。もっとも望ましい画像を表示するには、この解像度を使用してください。

## 9.3 Multiview FAQ

**Q1: ソースが DVI や MHL-HDMI の場合、PIP や PBP を有効にできないのはどうしてですか？**

**回答:** メインソースとサポートするサブソースについては、以下の表を参照してください。

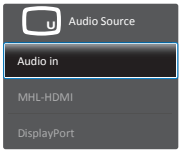
| MultiView | 入力 | サブソースの可能性 (xl) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | VGA | DP | DVI | MHL-HDMI |
| メインソース (xl) | VGA | | ● | ● | ● |
| | DP | ● | | ● | ● |
| | DVI | ● | ● | | ● |
| | MHL-HDMI | ● | ● | ● | |

**Q2: PIP サブウィンドウを拡大できますか？**

**回答:** はい、できます。3 つのサイズから選択できます。[Small]( **小** )、[Middle]( **中** )、[Large]( **大** )。 を押して OSD メニューに入ることができます。[PiP / PbP] メインメニューから優先する [PiP Size](PiP **サイズ** ) オプションを選択してください。

**Q3: ビデオから独立して、オーディオを聴くにはどうすればいいのですか？**

**回答:** 通常、オーディオソースはメインのピクチャソースにリンクされています。オーディオソースの入力を変更したい場合 ( 例：ビデオソース入力には関わりなく独立して MP3 プレーヤーを聴く )、 を押して OSD メニューに入ることができます。[Audio]( **オーディオ** ) メインメニューからお気に入りの [Audio Source]( **オーディオソース** ) オプションを選択してください。




モニタを次にオンにするとき、モニタはデフォルトで最後に選択されたオーディオソースを選択します。これを再び変更したい場合、上のステップを行ってお気に入りのオーディオソースを新しく選択して、「デフォルト」モードにする必要があります。

© 2016 Koninklijke Philips N.V. 無断複製および転載を禁じます。

Philips と Philips Shield Emblem は
Koninklijke Philips N.V. の登録商標で、
Koninklijke Philips N.V. からライセンスを受けて使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン：M4272SE2T